

NIPPON SEIKI

Integrated Report

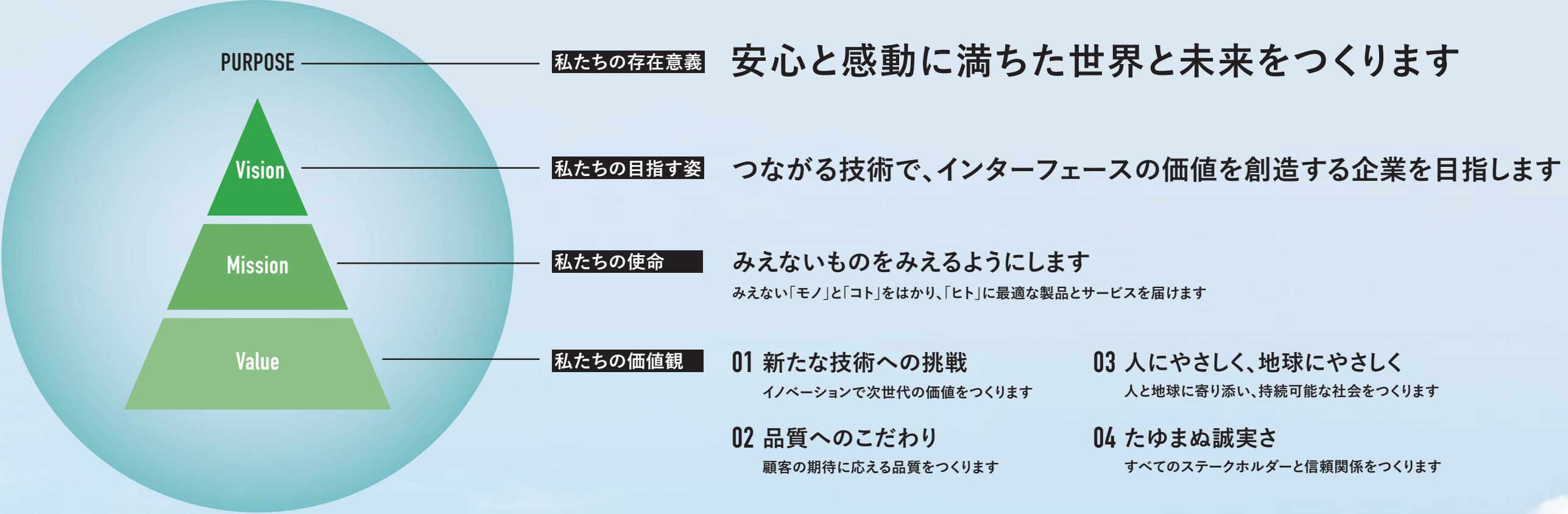
2025

日本精機株式会社
統合報告書 2025



日本精機グループの理念体系

企業理念体系



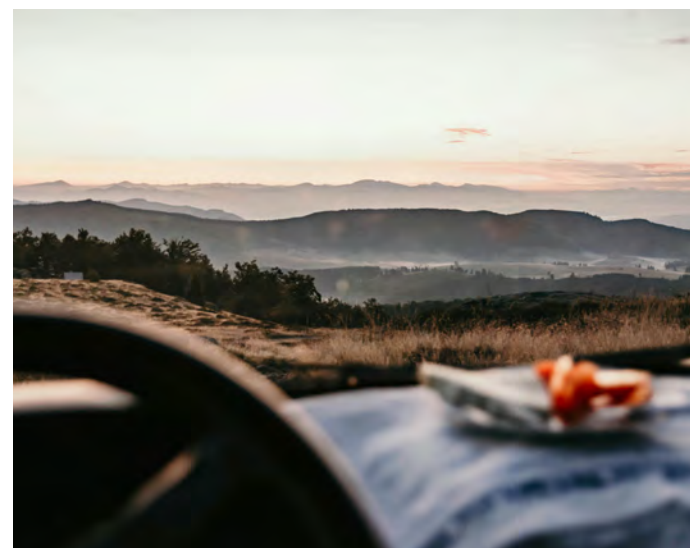
経営理念

筋肉質な企業としてチャレンジを続け、社会と企業の持続的な繁栄に貢献します





安心と感動に満ちた
世界と未来をつくります



CONTENTS

01 日本精機グループの概要

- 03 日本精機グループ沿革
- 04 日本精機グループ概況
- 05 財務・非財務ハイライト

02 日本精機グループの 価値創造プロセス

- 06 トップメッセージ
- 09 中期経営計画2026
- 10 財務方針
- 11 日本精機グループ サステナビリティ方針
- 12 マテリアリティ
- 13 価値創造プロセス
- 14 日本精機グループの事業

03 ESGに関する取組み

- 19 ESGに関する取組み
- 20 環境への取組み(E)
- 22 社会への取組み(S)
- 25 コーポレートガバナンスへの取組み(G)
- 28 社外取締役対談

04 財務諸表

- 30 財務諸表

05 役員紹介 / レビュー

- 33 役員紹介
- 33 統合報告書レビュー

見通しに関する注意事項

当報告書に記載されているデータや将来予測は、当報告書の発表日現在において入手可能な情報に基づくもので、様々な要因により影響を受けることがあり、実際の業績は見通しから大きく異なる可能性があります。従って、これらの将来予測に関する記述に全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。また、当社は新しい情報・将来の出来事等に基づきこれらの将来予測を更新する責任を負うものではありません。

日本精機グループ沿革

創業 ～日本精機の由来～

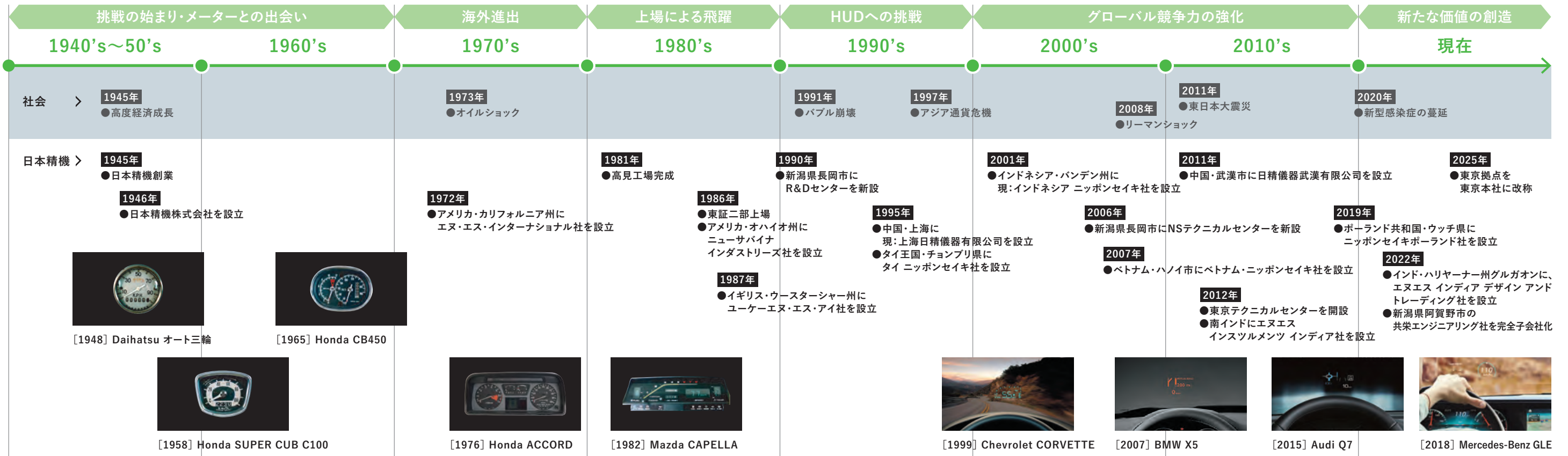
終戦間もない1945年12月、材料不足の中でも「技術を磨けばいい製品が生み出せる」という意志のもと、株式会社日本機械製作所の精密機械部として創業。

翌1946年、新潟県・長岡の地から「世界を翔ける日本の代表企業となる」との気概を社名に込め、日本精機株式会社を設立。

創業80周年を迎えて

2025年の創業80周年を記念し、記念動画を制作・公開しました。本動画は、歩んできた歴史、大切にしてきた価値観や未来への想いを表現しています。この節目を新たなスタートとし、築いてきた信頼や価値観を次世代へとつなぎ、ステークホルダーの皆さまと共に、社会の発展に貢献してまいります。

80th ANNIVERSARY
SPECIAL SITE



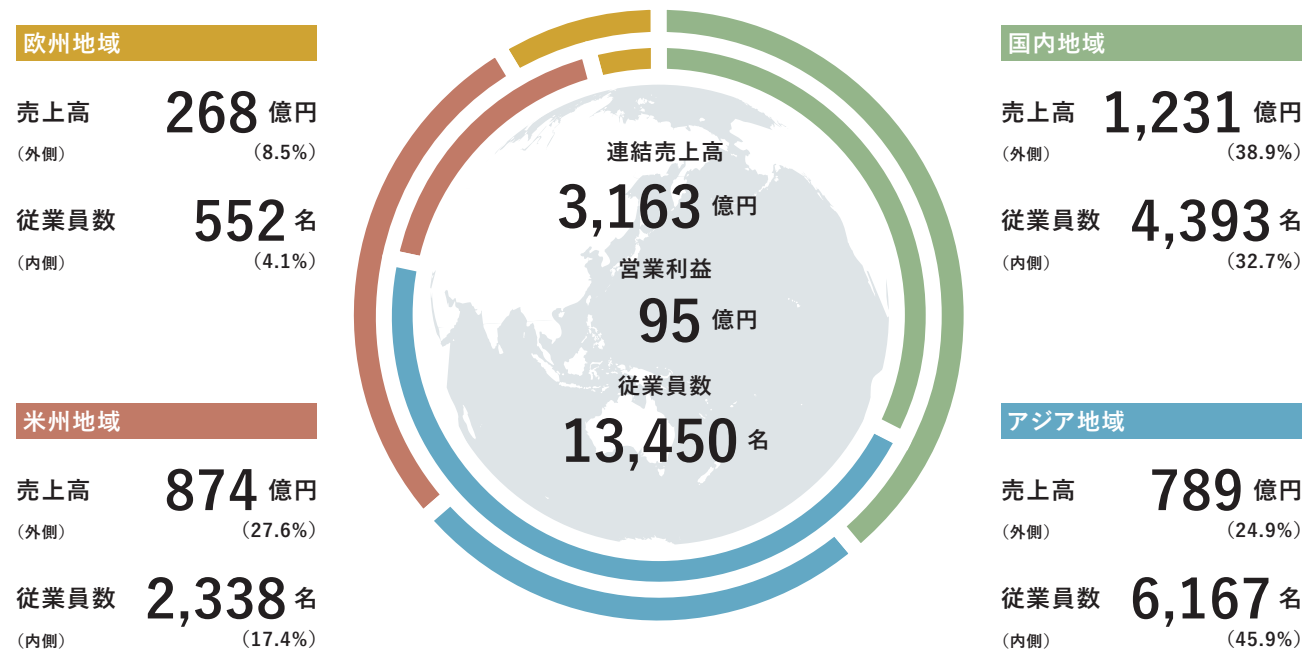
外部環境と企業価値の変遷

売上高/ 売上収益(左軸) 当期純利益/親会社の所有者に帰属する当期利益(左軸) 株価時価総額(右軸)

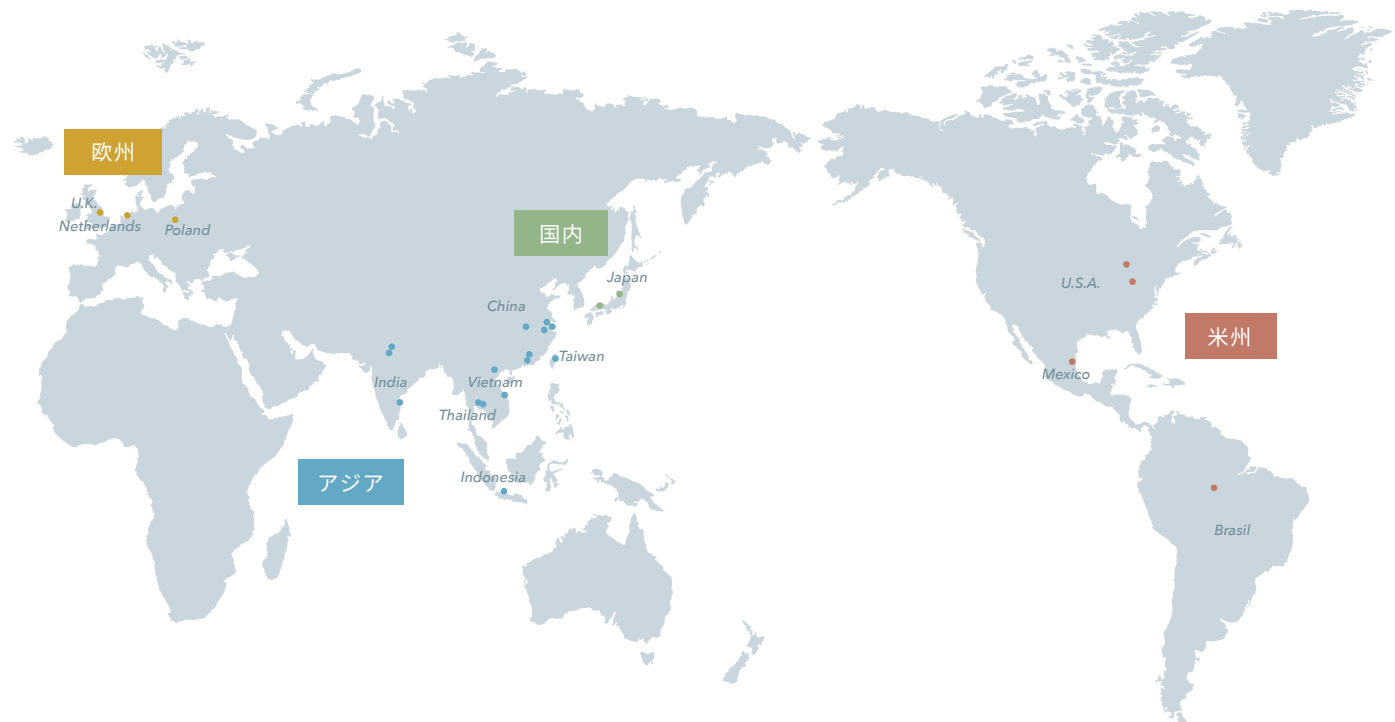


日本精機グループ概況 〔2025年3月期〕

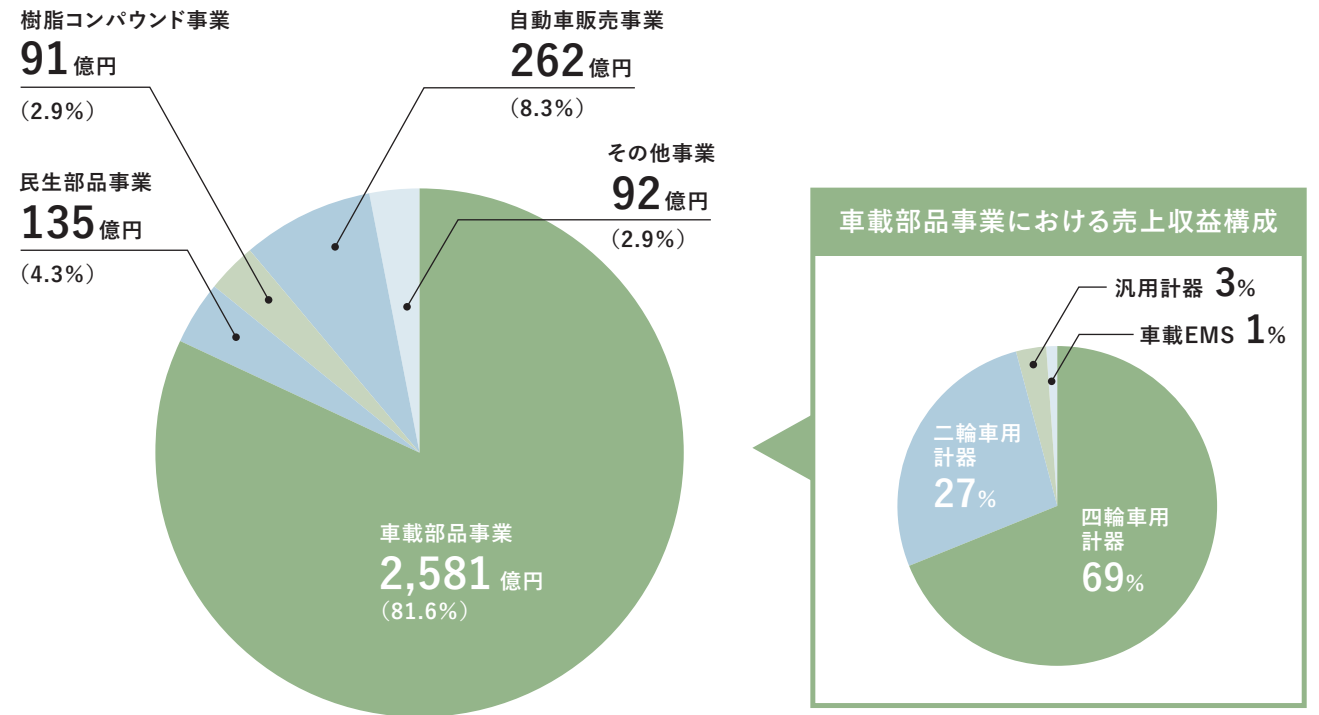
地域別売上・従業員数 (売上：億円未満切り捨て)



日本精機グループネットワーク



セグメント別売上高 (億円未満切り捨て)



日本精機グループ概況

2025年3月期 経営成績の概況について

当連結会計年度における当社グループを取り巻く経済環境は、米国ではインフレの高止まり懸念はあるものの景気は底堅く推移し、日本においては個人消費を下支えにゆるやかに景気回復基調となりました。一方で、欧州では製造業を中心に停滞が見られ成長ペースは鈍化傾向であり、中国においては不動産不況からの脱却に向けた景気刺激対策が行われたものの本格的な回復には至っていません。また、世界的なインフレの継続により物価・エネルギーコストが上昇していることに加え、ウクライナ・中東情勢をはじめとする国際的な緊張の高まり、米国新政権による関税引き上げによる景気減速リスク、為替の変動などにより、依然として先行きの不透明感が強まっております。

このような状況において、当社グループは、

グループビジョン「つながる技術で、インターフェースの価値を創造する企業」の実現に向け、将来に向けた車載用計器等の設計・製造技術を中心に、高度な専門技術を蓄積・進化させてまいりました。また、持続的な利益創出を実現すべく原価低減活動及び販売価格の適正化に一層の重きを置き、より無駄のない筋肉質な企業体質の構築を推進いたしました。

当連結会計年度の売上収益は、316,397百万円(前期比1.3%増)、営業利益は、9,584百万円(前期比13.0%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益は、6,122百万円(前期比15.5%増)となりました。売上収益は、中国における日本車の販売停滞の影響を受けたものの、アセアン・インドにおける二輪車向け計器の販売増加と欧州におけるヘッドアップディスプレイ新機種立ち上げ、円安の影響などにより増収となりました。営業利益は、

原材料などの費用高騰分を適切に販売価格に反映する交渉や筋肉質経営を目指した継続的な原価低減活動により増益となりました。親会社の所有者に帰属する当期利益は、営業利益の増加により増益となりました。

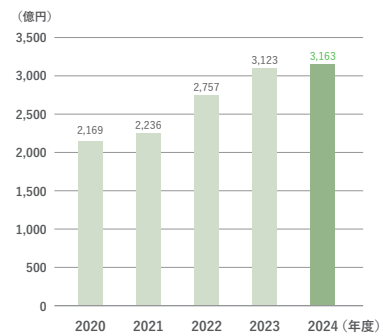
財政状態の概況について

当連結会計年度末の資産については、その他の金融資産の減少等により、前連結会計年度末と比較して6,536百万円減少し、332,095百万円となりました。負債については、社債及び借入金の増加等により、前連結会計年度末と比較して2,287百万円増加し、111,864百万円となりました。資本については、その他の資本の構成要素の減少等により、前連結会計年度末と比較して8,824百万円減少し、220,230百万円となりました。

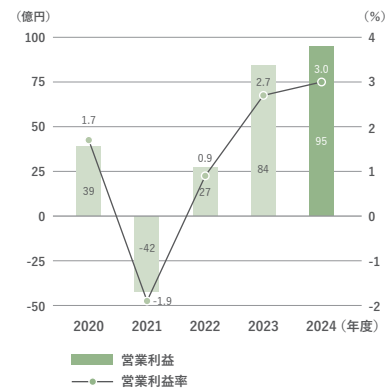
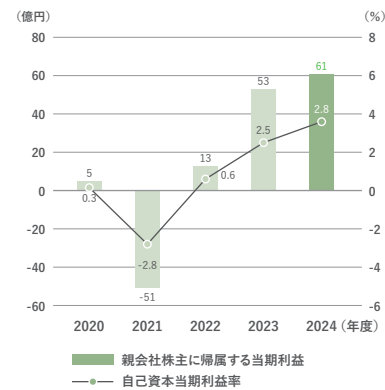
財務・非財務ハイライト [2025年3月期]

財務

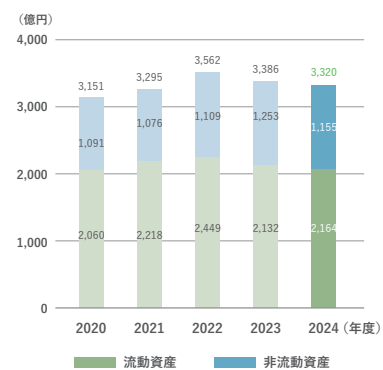
売上収益(億円) [連結]



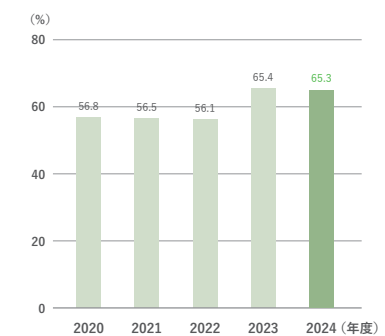
営業利益 / 営業利益率(億円)(%) [連結]

親会社株主に帰属する当期利益(億円)
自己資本当期利益率(ROE)(%) [連結]

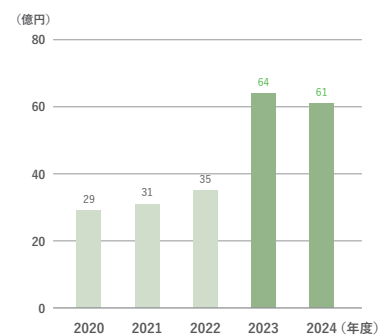
流動資産 / 非流動資産(億円) [連結]



親会社所有者帰属持分比率(%) [連結]



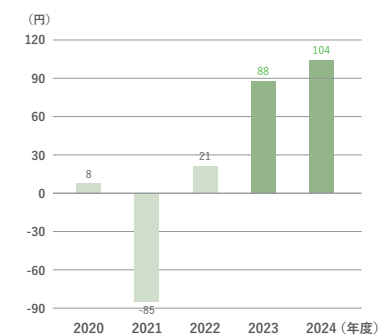
研究開発費(億円) [連結]



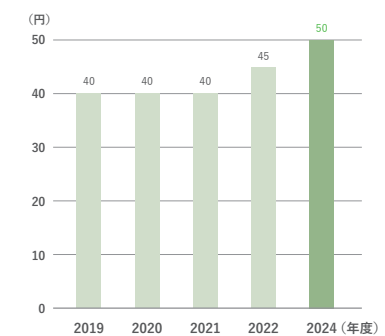
設備投資額 / 減価償却費(億円) [連結]



1株当たり当期利益(円) [連結]

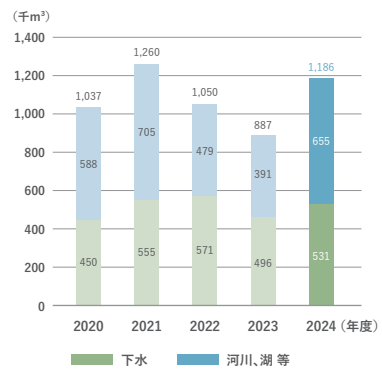


1株当たり配当金(円) [連結]

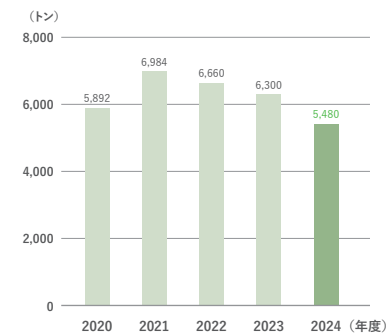


環境

排水量(千m³) [連結]

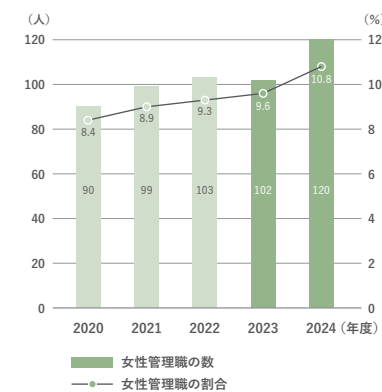


廃棄物排出量(トン) [連結]

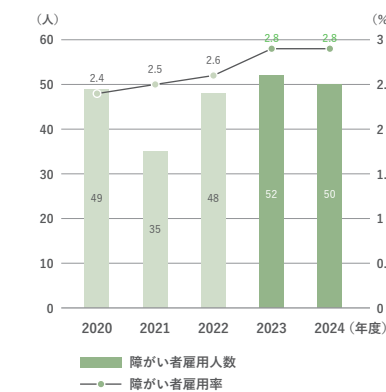
CO₂排出量(トン) [連結]

社会

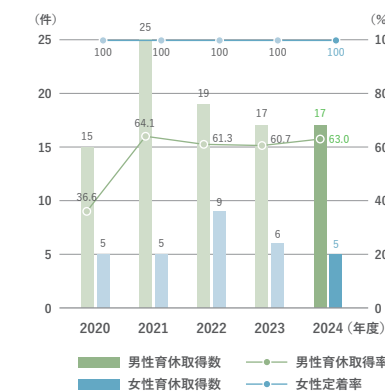
女性管理職数 / 割合(人)(%) [連結]



障がい者雇用人数 / 雇用率(人)(%)

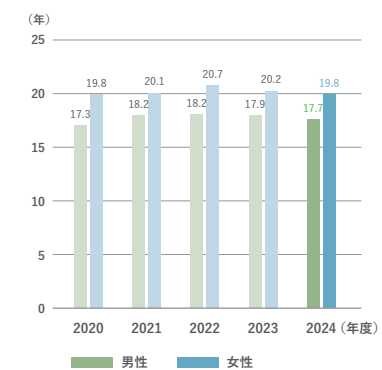


育休取得数 / 定着率(件)(%)

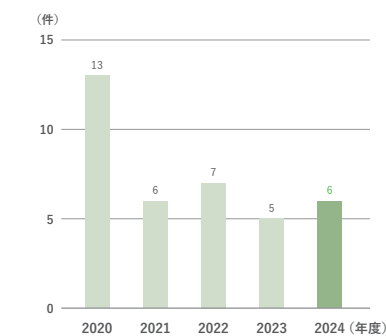


社会

平均勤続年数(年)



労災発生件数(件)



ガバナンス

特許取得件数(件)

